

# つどい



新発田市自治会連合会  
会長 熊谷 清

市民の皆様、日頃は当会の事業運営に対しご理解ご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。  
さて令和7年は昭和100年、戦後80年の節目の年でありましたが、わたしども新発田市自治会連合会においても創立25周年の節目の年でもありました。  
また一昨年に続き当自治会は、地域におい



て最優先する課題を取り上げて事業を進めてまいりました。当自治会組織は市内17地区329の町内会で組織されていることはご承知の所であり、昨年は毎月開催される役員会において、17地区の代表より各自治会の組織体制や役員の方、予算や活動内容等について報告を頂き、それぞれの組織の実情を知ると共に、今後活動を推進する上でも大変参考になりました。  
新発田市自治会連合会は活動方針のメインスローガンに地域の絆から生まれる「安全安心で住みよい持続可能な地域社会づくり」を目指し、サブスローガンとして自治会相互の対話を大切に「共通する課題解決に向け、その役割を果たす自治会連合会」を掲げ取り組んでおります。  
令和8年度は30周年、更には50周年に向けての二歩を踏み出す年でもあります。そのためにも自治会連合会の活動の原点に立ち帰った活動を推進致します。原点とは当会の目的である「市民本位の市政を推進し、自治会相互の連絡協調と親睦を掲げ取り組むと共に、共通の課題解決に向けて取組みをすすめること」であり、「地域住民の保健福祉の増進と自治の向上、地域社会の持続的発展に寄与する」活動であります。市内329の町内会においては世帯数が100以下が245町内会、またその中で50世帯以下の町内会が161町内会もあることから、当会の活動目的を達成するためにも、私たちが直面している「持続可能な自治会・町内会運営」は共通の課題であります。今年度の講演会では、この共通課題をテーマに講演を行う予定です。  
10年後、20年後の明るい豊かな社会が構築することを願って、新発田に住んで良かったとしみじみ感じてもらえるよう、地域の絆を大切に、市行政・関係諸団体と更なる連携を図り取り組んでまいりますので、皆様におかれましては今後とも自治会活動にご理解とご支援を賜りますよう、宜しくお願ひ申し上げます。

## 令和 8 年度 新発田市自治会連合会役員名簿

No.	役職	地区名	代表者氏名	自治会等名
1	会長	住吉地区	熊谷 清	富塚町南町内会
2	副会長(事務局)	東豊地区	中野 義雄	東新町2丁目町内会
3	副会長	猿橋地区	山内 由則	中曽根町自治会
4	副会長	川東地区	宮野 昭平	上大友
5	会計	外ヶ輪地区	高橋 眞一	中央町4丁目町内会
6	理事	外ヶ輪地区	坂上 敬	大手町三丁目町内会
7	理事	猿橋地区	山内 由則	兼任
8	理事	御免町地区	栗原 祥	御幸町3・4丁目町内会
9	理事	二葉地区	佐藤 正平	あやめ団地町内会
10	理事	住吉地区	熊谷 清	兼任
11	理事	東豊地区	中野 義雄	兼任
12	理事	五十公野地区	小林 義春	橋本自治会

No.	役職	地区名	代表者氏名	自治会等名
13	理事	松浦地区	佐藤 功	荒川集落
14	理事	米倉地区	大江 友男	山内自治会
15	理事	赤谷地区	小柴喜伊智	上赤谷区
16	理事	川東地区	渡邊 裕之	下羽津自治会
17	理事	菅谷地区	藤間 和弘	下石川自治会
18	理事	加治地区	小針 衛	三日市1区
19	理事	佐々木地区	古山 弘	飯島甲自治会
20	理事	豊浦地区	渡辺 守	中ノ目新区
21	理事	紫雲寺地区	神田 義一	大島第2自治会
22	理事	加治川地区	曾我 富好	下金塚
23	監事	住吉地区	渡辺一比古	御幸町2の1町内会
24	監事	佐々木地区	後藤 政実	大字佐々木自治会



参加者の皆さん



防災イベント会場



説明を聞く参加者



2階メインホール入口

また2階メインホールで行われた防災教育交流フォーラム「マルチハザード対応の防災教育」に参加し、「学校で今日から実践できるマルチハザード対応の防災教育」「高校生が実践する



パネルディスカッション

「ぼうさいいっくたいin新潟」に参加して  
内閣府が主催する日本最大級の防災イベントである「ぼうさいいっくたい」が令和7年9月7日(日)に新潟朱鷺メッセで開催されました。

防災活動、活動をいかに支援できるかについてパネルディスカッションを見学してきました。  
この視察を踏まえ、今後の地域防災活動に活かしてもらいたいと思えます。

視察研修部会  
小柴喜伊智(赤谷)  
高橋 勤朗(佐々木)  
佐藤 武(豊浦)



講師の宮崎保様



参加者の皆さん



熊谷会長挨拶

講演会部会  
渡辺一比古(住吉)  
中野 義雄(東豊)  
小針 衛(加地)  
山内 由則(猿橋)

マンバンド「熱と光」代表の宮崎保様を講師に迎え「ちよっとこころをかしてくれませんか」という演題で素敵なギターと弾き語りとの合奏の軽妙な話術に感動いたしました。講演の内容は宮崎様の生い立ちから成人するまでの人生が主に語られました。ただ、その歌われている歌詞は希望であり、共生・未来・優しさでもあり大変感動いたしました。

創立25周年記念講演会開催

講演会部会長 伊藤 孝司郎  
新発田市自治会連合会は令和7年に創立25周年を迎え、記念講演会を開催することとなりました。  
新発田市は平成9年3月に「人権擁護都市宣言」を行い、更に平成25年9月に「新発田市差別のない人権が尊重されるまちづくり条例」を制定し、あらゆる人権問題に取り組みしております。  
また住吉小学校では永年の人権教育が評価され、令和3年11月に文部科学大臣より栄誉ある「第52回博報賞」を授与されました。  
このことから今回の講演は人権教育をテーマとし、遥々福岡よりヒュー

地域に最適な避難所運営のために

市政懇談会部会長 海老井 修  
令和7年度の市政懇談会が、昨年7月21日(月)午後2時から市民文化会館において「避難所運営委員会の目的や役割と設立までの手順」をテーマに新発田市との共催で開催され、自治会長ら131人が参加しました。  
災害発生時に避難者が避難生活を送る市の指定避難所には、市から避難所担当職員が配置されているものの、大規模災害が発生し、大勢の避難者が長期間にわたる避難生活を余儀なくされると、避難所担当職員だけでは対応できなくなります。こうしたことから、避難所担当職員と連携・協力して避難所の運営に当たる避難所運営委員会が必要になります。  
令和7年7月14日時点で市の指定避難所51施設34施設で設置されている避難所運営委員会の目的や役割、その設置までの手順と要点について、新発田市地域安全課の長谷川課長と高橋係長から分かりやすく説明していただきました。また、避難所運営委員会を設置している加治川地区と紫雲寺地区から設置までの経緯や組織体制、それに事業内容等について、事例発表がありました。  
金塚地区避難所運営委員会の後藤前委員長からは、対象地域が広く自治会が多いという地域の特性を踏まえ、公会堂を二次避難所にし、そのために物資・資材輸送班を追加したことや能登半島地震により明らかになった課題とその対応策について話があったほか、令和6年には年2回の会議や地元企業の協力を得て避難所フェスを開催していることなどの活動の報告がありました。  
また、旧米子小学校区避難所運営委員会の海老井総括班からは、加治川で分断される地域の特性があることから片岸に偏らない役員体制にしていることや女性にしか対応できない事案に備え、必ず女性に役員になってもらっていること。それに避難所運営委員会の設置と運営には、ヒト・モノ・カネの3つの視点が重要になることなどの話がありました。  
出席者アンケートには、109人から回答が寄せられ、お寄せいただいたご意見(要望)は、次回以降の市政懇談会の計画に活用する予定です。

市政懇談会部会  
佐藤 正平(二葉)  
齋藤 郁夫(松浦)  
小林 義春(五十公野)  
栗山 功(米倉)



地域安全課からの説明



紫雲寺地区の海老井総括班長



金塚地区の後藤前委員長



新発田市消防団女性消防隊のPR



令和8年度 収支予算書

辞令和8年4月1日～至 令和9年3月31日

(収入の部)				(単位:円)
科目	前年度予算額(A)	本年度予算額(B)	比較増減(B)-(A)	
繰越金	222,412	205,714	△ 16,698	
会費	980,000	971,000	△ 9,000	
参加者負担金	930,000	940,000	10,000	
補助金	940,000	900,000	△ 40,000	
手数料	60,000	60,000	0	
雑収入	588	1,286	698	
合計	3,133,000	3,078,000	△ 55,000	

(支出の部)				(単位:円)
科目	前年度予算額(A)	本年度予算額(B)	比較増減(B)-(A)	
事業費	1,970,000	1,910,000	△ 60,000	
会議費	506,000	517,000	11,000	
事務費	15,000	14,000	△ 1,000	
役員手当	541,000	541,000	0	
積立金	50,000	50,000	0	
雑費	20,000	12,000	△ 8,000	
予備費	31,000	34,000	3,000	
合計	3,133,000	3,078,000	△ 55,000	

令和8年5月16日(土)午後2時より新発田市民文化会館大ホールにて、通常総会を開催致しました。当日は天候に恵まれ、参加者は過去4年間で最高の180名にも達すると共に、委任状を含めると298名もの参加となりました。  
なお議案については1号議案から6号議案まで、満場一致で可決されました。  
また今年度は執行部の役員改選の年度のため、佐藤武男選考委員代表より選考過程の説明があり、新役員全員についても満場一致で可決されました。最後に、熊谷会長より新たに選出された役員を代表し挨拶を頂き、力強い新年度のスタートを迎えることができました。

令和8年通常総会開催!!

地域の連携を深める活動報告

住吉三区町内会 会長 塩谷 行男

住吉三区町内会は、住吉町二丁目・三丁目・四丁目(リリオ地区含む)・五丁目から構成した世帯数1,500軒の市内でも大きな町内会です。令和7年度の町内会事業は青年部が中心となり取り組んで来ましたが、年間の事業参加者数は延べ1,180名となり、改めて町内の皆さんに感謝申し上げます。またこの活動は「ふれあい住吉」の広報誌に掲載し、全戸配布により周知しています。令和8年度も皆さんの協力を頂き、活発に事業展開致しますので宜しくお願い致します。

1 住吉大祭：4月29日

あいにくの降雨予想により中止となりました。(令和6年度を掲載)



2 ラジオ体操：8月1日～9日 (延べ626名参加)

あっちゃんがたけどみんな頑張りました。



3 町内BBQ：8月24日 (132名参加)

焼肉・焼きそば・かき氷美味しかった。プールも楽しかった。



4 町内運動会：10月13日 (181名参加)

降雨予報のため住小体育館で開催。マリオ・住吉サウルスも参加し楽しかったよ。



5 町内スタンプラリー：11月9日 (144名参加)

景品をたくさんゲットしました。住吉鍋もおいしかった。



6 豆まき・新年懇親会：1月25日 (97名参加)

豆まきは「赤鬼」「青鬼」が怖かったけど楽しかったよ。福をたくさんゲットしました。



表彰 おめでとう ( )ぞいます!

令和8年の総会において新発田市自治会連合会表彰規定第2条に伊藤孝司郎さんが該当し受賞されました。

伊藤さんは令和2年より加治川地区の代表理事となり、令和6年から1期2年執行部副会長として活躍されました。

令和7年度をもって退任されますが、これからも加治川地区並びに新発田市自治会連合会にご支援ご協力をお願い申し上げますと共に永年の貢献に感謝いたします。



編集後記

本年度は、新たな執行部が選任され新体制の基で事業が開始されました。

新発田市自治会連合会の部会事業を広くご理解戴きたく、令和7年度の市政懇談会部会、視察研修部会、講演会部会の各事業内容を今回の「つどい」で皆様にお知らせしました。

なお、年1回の発行となりますが、今後もこの広報「つどい」を通して皆様への情報発信に努めてまいります。

また、皆様からの情報もご提供いただけますよう、宜しくお願いいたします。

新発田市自治会連合会 広報部会

- 部会長 山内 由則(猿橋地区) 坂上 敬(外ヶ輪地区) 渡邊 裕之(川東地区) 藤間 和弘(菅谷地区)

【情報の連絡先】

新発田市市民まちづくり 支援課 (☎22-3030)



この会報は、赤い羽根共同募金の助成を受け発行しています。